

## 平成 27 年度 学校自己評価総括

平成 27 年度の学園教育方針として示された「ドミニコと共に真理を求め、自由に生きる」に基づいて、次の三つの指導の柱、「1. 一人ひとりを大切にする」、「2. 自発性を育てる」、「3. 豊かな関わりを育てる」を教育目標として掲げ、取り組んできた。

さらに、聖ドミニコに倣って、現代社会が必要としていることにも耳を傾け、出来る教育改革を行いながら、園児、児童、生徒がそれぞれの成長段階に応じて成長していくように見守ってきたこの一年間の歩みを振り返ってみる。

### 1. 一人ひとりを大切にする

世界の各地で起きている自爆テロや空爆など、宗教や民族の争いによって罪のない多くの人々が突然命を奪われる悲惨な出来事を、テレビや新聞のニュースなどによって子どもたちは見聞きしている。こんな現代社会に生きている子どもたちだからこそ「一人ひとりには神から愛されて頂いた『尊い命』である」ことをしっかり自覚させたいと、先生方はあらゆる機会を通して子どもたちに語りかけ、ともに考えを深めていった。先生方のこのメッセージが、子どもたちの心の中に浸透しつつあることが、子どもたちの祈りの中からもうかがうことが出来るようになった。

この「一人ひとりを大切にする」という教育目標は、どの学部もほぼ百パーセントに近い評価が得られた。このことは、子どもたちが「自分は神様から愛されている大切な存在である」ことを自覚しすることで、生きていく上で一番大切な自尊感情や自己肯定感がしっかりと育っていくものと思われる。

さらに特筆すべきこととして、小学校において「一人ひとり違ってよい」という認識のもと、宗教や民族の違いをも排除する動きに対して、「間違いに気づいてほしい」と祈る子どもの思いを分かち合う先生方の姿勢が、これらの高い評価につながっているといえる。

### 2. 自発性を育てる

自発性を育てるための評価項目「子どもが友だちの中でも自分を発揮する自信を持てるように配慮する」点や「子どもの興味や関心、夢を大切にし、育てていく」ことに関しては、前年度を上回る高い評価が得られた。しかし「どんな困難にもくじけず、あきらめないでたくましく生きていける力を育てる」点については、残念ながら前年度より低い評価となった。その原因を探り、どのような指導がより重要であるかを探求しながら「たくましく生きていける力」を育てていきたいと願っている。今後の指導に期待したい。

さて、より自発性が重要になってくる中学高校では、「真剣な授業参加を求め、質問やノート提出を奨励し評価する」がより高く評価されている。これは調べ学習や自由研究の機会を増やしたことや、自発的に探究する喜びと可能性を引き出すために、授業の中に IT を活用し、能動的な授業形態を取りこんだことから、自発性を育てる評価項目がより高い

評価につながったものであろう。高校生の段階では、進路に向けて早い段階から考える機会を持ち、目標に向けて一層の自学自習の成果を高め向上心に繋げていく指導力が求められる。

### 3. 豊かな関わりを育てる

豊かな関わりを育てるために、幼稚園生活で最も大切なことは、園児たちが「幼稚園は楽しいところ」、「幼稚園に早く行きたい」と思ってもらえることである。そのために教師たちは「友達との生活が楽しいと思えるような雰囲気作りを心がけ」、「年下の子どものお世話が上手く出来るように配慮する」などの努力を続けてきた。その効果が上がり、子どもたちの園生活が安定していることから、これらの目標はほぼ百パーセント「達成している」と言う評価が示された。

小学校でこの評価項目の達成のために努力してきたこと、「互いに信頼し信頼される人間関係を育てる」こと、「思いやりの心、人を愛することの大切さ」「聖ドミニコに倣って、子ども・保護者との対話の工夫」「一人ひとりの自信を深めるための関わりを大切にする」など、これらを努力してきた一年間の評価はほとんどすべての項目が百パーセントという高評価であった。目標達成のための工夫をし、子どもたちや保護者の方々との良い人間関係をこころがけることなど、先生方が前向きに受け止めて努力してきたおかげであると思う。

豊かな関わりの育成は、中高生になるとより具体的な活動である委員会活動や当番活動、部活動を通じて、周囲への配慮と協力、責任を学ぶことで育まれていることが高い評価を得ている。さらに社会参加の機会を増やすために、ボランティア精神の拡大と高揚が求められ、被災地ボランティア活動など具体的な活動の推進を図り、校内外のボランティア活動の情報を提供し、これからも奉仕の精神を培う機会を作りだすことに努めたい。

事務局の「一人ひとりを大切にすること」や「自発性を育てる」は高く評価されており、「豊かな関わりを育てる」については特に「共通の理解を深めるため、自分から積極的に対話を図る努力をしている」この項目の評価が毎回低い。対話を重視したドミニコの生き方をもう一度勉強する必要があるそうだという結論に至った。